



協議体会議



見守り隊長会議



地域資源調査会議

「生活支援体制整備事業」(厚労省)が、平成30年4月1日から全国すべての市町村において一斉に始まりました。この事業は住民主体の「支え合いの地域づくり」を目指すものです。そのための協議と実践の機能を有する組織が「協議体」(第2層)です。現在15名の委員で構成されています。

東部地区見守り隊は本隊と26の地区隊で組織されています。地区隊は自治会単位で組織されています。基本的には、年3回の隊長会議と年1回の推進会議で、見守り事業の運営について協議しています。隊員は見守り利用者の安否確認・外からの見守りをはじめ日常生活支援を行っています。

「生活支援体制整備事業」を推進する上で、必須になっているのが「地域資源」(地域の宝)の発掘です。平成30年7月5日に見守り隊員等109名が一堂に会し「地域資源調査会議」が開催されました。参加者は7グループに分かれ、地域資源を発掘し地図上にマーキングなどを行いました。

「小地域福祉活動計画」策定委員

(策定委員会委員長 本堂敏雄氏)

No.	氏名	地域づくりに関する役職等	No.	氏名	地域づくりに関する役職等
1	本堂 敏雄	東部地区社会福祉協議会長 東部地区見守り隊総隊長 東部地区協議体委員長(第2層)	7	渡辺千代子	東部地区協議体委員(第2層) 東部地区福祉委員(荒町)
2	平井 邦夫	東部地区社会福祉協議会副会長 東部地区見守り隊副総隊長 東部地区協議体委員(第2層)	8	高梨 順子	大田原市民生委員児童委員(大手) 東部地区社会福祉協議会評議員
3	後藤 仁	東部地区社会福祉協議会副会長 東部地区協議体副委員長(第2層)	9	平山 文夫	富士見ハイツ自治会長 東部地区見守り隊副総隊長 大田原市第1層協議体委員 東部地区協議体委員(第2層) 与一太鼓会長
4	田口 秀司	東部地区社会福祉協議会事務局長 東部地区見守り隊副総隊長 東部地区協議体委員(第2層)			
5	田野 道明	大田原東地区自治公民館連絡協議会副会長 東部地区見守り隊副総隊長 大田原市第1層協議体委員 東部地区協議体委員(第2層) 東部地区社会福祉協議会理事	10	濱野 将行	一般社団法人「えんがお」代表理事 大田原市第1層協議体委員 東部地区協議体委員(第2層)
6	木下 文雄	富士見自治会長 東部地区協議体委員(第2層) 東部地区社会福祉協議会理事	11	人見 英一	安心生活見守り事業主任 生活支援コーディネーター 東部地区社会福祉協議会事務局

編集：東部地区社会福祉協議会 連絡先：大田原市社会福祉協議会 (TEL 23-1130) 平成31年3月発行

# 東部地区 支え合いの地域づくり計画

《 第1次 小地域福祉活動計画 2019年度～2023年度 》

## 小地域福祉活動計画とは？

将来を見据え、私たちが住んでいる地域のよいところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」(互助・共助)を進めるための「東部地区社会福祉協議会」の計画です。

## 《 目指す地域像 》

**東部地区から広がる共助の輪**

～ 気遣う心 支え合う力 こぼれる笑顔 ～

## 東部地区の人口構成等

(2019.1.1 現在)

人口 (8,587人)	年少人口(0～14歳)	1,081人	世帯数	3,835世帯		
	生産年齢人口(15～64歳)	5,127人		高齢化率	大田原市	28.52%
	高齢人口(65歳以上)	2,379人			東部地区	27.70%

## 東部地区の特色

東部地区は、大田原地区の中央に位置し、大田原小学校・若草中学校を学区とする中心市街地である。金燈籠交差点を中心に放射環状型(3環状8放射)の道路体型が形成されており、黒羽地区・湯津上地区をはじめとし、近隣市町とのアクセスも充実している。

古くより奥州街道の宿場町として、また、戦国時代から続いた大田原氏の居城(大田原城)の城下町として繁栄した。その往時を偲ばせる面影が随所に残っている。桜まつりをはじめとし、厳かな大田原神社の神事や歴史と伝統ある屋台まつり・与一まつりなど、四季折々の行事が、街中に賑わいをもたらしている。

しかし、少子高齢化等による人口減少、商店数の減少に伴う商業機能の低下、空き家の増加等の諸背景により、近年街中の空洞化が進んでいる。そのため再開発事業による市街地整備、例えば、美しい街並み空間の創出(「電柱の地中化」等)や魅力ある商業空間の形成(「トコトコおおたわらの建設」等)などに官民一体となって市街地の活性化に取り組んでいる。



# ～ 住民主体の支え合い・助け合いの地域づくりを目指して ～

## 「東部地区が取り組むこと」

目 標	実現のための主たる具体目標	2019	2020	2021	2022	2023
1 人づくり	「地域づくりは人づくり」です。 支え合い・助け合いの地域づくりのための人材の発掘、養成・確保に努めます。					
	地域づくり、人づくりのための研修会や事例研究会を実施します。 地域人材等を調査し、生活支援の担い手の養成・確保を図ります。					
2 子どもの見守り	少子化が進む中で次代を担う子供たちは地域の宝です。 子供たちが安心・安全に登下校できるような体制づくりに努めます。					
	子どものための見守り組織を編制し、見守り活動を実施します。 危険箇所等を調査し、通学路の安全マップを作成します。 子どもの見守り活動を通して、地域にあいさつの輪を広げます。					
3 通いの場づくり	人とのふれあいや交流は介護予防や認知症予防などに効果的です。 生活支援・介護予防サービスの一環として、通いの場づくりに努めます。					
	自治公民館等を通いの場の拠点になるよう段階的に推進します。 通いの場の実態調査及び民間の通いの場の活用促進を図ります。 通いの場を通して世代間交流を推進します。					

福祉活動計画推進のための組織編制

(2019.1.1 現在)

<b>アンケート調査結果</b>	東部地区見守り隊による 2017.10 調査 見守り隊員 140 名を無作為抽出	見守り隊数	26 地区隊 (26 自治会)	見守り隊員数	539 名	見守り利用者数	133 名	要介護認定者数	377 名	自治公民館数	22 館
------------------	---	-------	-----------------	--------	-------	---------	-------	---------	-------	--------	------

